

## 塩尻市辰野町中学校組合立 両小野中学校

わたしの学校では、こんな活動をしています。

## 原村立 原中学校

### もみじ山 林業体験

自分たちの故郷の自然を自分たちで守っていこう

### 私たちの村で彫刻の森を仲間と共に

卒業生によるブロンズ像制作



卒業記念の植樹：3年生



下草刈り：1・2年生



美しく紅葉したもみじ山



枝の伐採：1・2年生



地域貢献活動の一環として生徒が考案しました。

両小野 PR キャラクター「うとう」

両小野中学校では、毎年学区にある北小野財産区有林「相吉もみじ山」で、林業体験、もみじの植樹作業を行っています。

この活動は、キャリア学習として、また、「地域のために自分たちができることをしよう」という地域貢献型生徒会の一環として位置づいています。「もみじ山を多くの方に愛される山にしたい」という地域の方の思いに触れ、自分たちもそのお手伝いをしようとの活動に取り組みんでいます。

1・2年生は、財産区の方のご指導をいただき、下草刈りや草取り、枝の伐採などの体験、3年生は、隣接地でゴルフ場を運営する信州塩嶺高原カントリー様からいただいた「いろは



またみんなで見て来よう！

もみじ」の幼木の植樹を卒業記念として行っています。何年後か、大きく生長したもみじを、またクラスのみんで見られる日がくることを願って、丁寧に植えました。

作業を行ってみて、1・2年生からは「日常生活の中ではできない体験なので、教えてもらいながら楽しく学習できた」という声が聞かれました。3年生からは「植樹の方法を丁寧に教えていただき、『大きく育てね』という声がありました。」

両小野中生として、卒業しても自分が生まれ育った故郷の自然を大切にしたいという気持ちを忘れずに、地域の自然をみんなで守っていききたいです。

両小野中学校の紹介  
通学区が塩尻市と辰野町にまたがる全校65名の中学校です。生徒が考案した両小野 PR キャラクター「うとう」と共に地域イベントに参加したり、「地域美化活動」など地域貢献活動に取り組んだりして地域との絆を深めます。

ここに注目！取り組みのポイント  
中学生も地域のために活躍している取り組みです。地域の活動を年齢も違う地域の方と一緒に学び、一緒に取り組むことで、お互いの得意なことを活かし、協力しあって続けていく活動につながっていきます。

18歳までの子どもがかけられる「子ども専用の電話」  
チャイルドライン  
フリーダイヤル 0120-99-7777  
困っているとき、悩んでいるとき、なんとなく「だれかに話したい」、そんなとき……気軽にかけてください。



★ちょっといいにくいことでも、名前は言わなくていいので安心して話してください。  
★どんなことでも、いっしょに考えます。  
チャイルドラインはみなさんの赤い羽根共同募金が設立されています。



発行/お問い合わせ



社会福祉法人 長野県社会福祉協議会  
まちづくりボランティアセンター  
〒380-0936 大字中御所字岡田98番地1 長野保健福祉事務所庁舎内  
TEL.026-226-1882 FAX.026-227-0137  
Eメール vcenter@nsyakyo.or.jp ホームページ http://www.nsyakyo.or.jp

あなたのまちのボランティアセンターへ行こう！

どこにあるかわからないひとは長野県社協まで！

公益社団法人 信濃教育会  
〒380-0846 長野市旭町1098  
TEL.026-232-6994  
ホームページ http://www.shinkyō.or.jp/

やまびこだよりは、長野県社会福祉協議会のホームページからPDFファイルおよび音読データとしてダウンロードできます。  
<http://www.nsyakyo.or.jp>



この新聞の発行には、みなさんの赤い羽根共同募金が役立てられています。

各校のボランティア・地域活動の紹介



彫刻の森のブロンズ像を観賞

この作品にはどんな意味がこめられているのかな？



ブロンズ像磨き



制作したブロンズ像の除幕式



令和4年度の作品テーマは「夜明け」でした。

原中学校では、郷土出身の彫刻家、清水多嘉示氏にちなみ、1980年から卒業記念にブロンズ像を制作しています。

ブロンズ像は村の八ヶ岳美術館隣の彫刻の森に設置されており、現在では42点のブロンズ像が残されています。また、学校の昇降口前には清水氏が“遅しく、正しく、真っ直ぐに”を願って制作した「のびゆく」像があり、私たちにとってブロンズ像は身近なものです。

1、2年生は彫刻の森でブロンズ像を観て、自分が心に残る作品を見つけたり、3年生からブロンズ像の制作への思いを聞いたりします。3年生は、5月に先輩方が制作したブロンズ像を磨いた後、一人ひとりが作品に込

めたい思いを彫刻や詩にします。みんなで一つの作品を選び、およそ9ヶ月かけて制作をします。3月には完成したブロンズ像の除幕式が彫刻の森で行われます。標高1.350mの自然豊かな地にある彫刻の森は私たちにとって特別な場所です。この場所で仲間と再会したり、同じ学び舎で過ごした地域の方の思い出を話したりするきっかけになるブロンズ像を通して、仲間や地域の方とこれからもつながっていきたいです。今年の3年生のブロンズ像のテーマは「快晴」になりました。思いを仲間と共に形にしていきたいと思います。

原中学校の紹介  
八ヶ岳のふもと、高原野菜の栽培が盛んな原村にある全校207名の中学校です。ブロンズ像の制作は美術館の設立時に、村の子どもたちが芸術に親しみ、感性を磨いてもらいたいという地域の人の願いをもとにして始まった活動です。

ここに注目！取り組みのポイント  
ボランティア活動を続けていくためには、「どんなことを大切にして取り組むのか」ということを、活動に関わる人たちの思いや考えを確認したり、取り組む仲間と考えたりすることがとても大切なことです。